



CONTENTS

CORPORATE FACE TIME

TOP MESSAGE

PERFORMANCE

MANAGEMENT

会長メッセージ



カルロス ゴーン

日産自動車株式会社 取締役会長

株主の皆さまへ

私が日本に赴任した1999年、日産自動車は破たん寸前でした。年間グローバル販売台数は230万台で、200億ドルにのぼる自動車事業実質有利子負債を抱えていました。それが今やグローバル販売台数は560万台に拡大し、150億ドル近くのキャッシュ・ポジションを実現しています。さらに当社は、世界最大の自動車グループの一つであるアライアンスの一員です。あらゆる優位性を享受し、ハンディキャップは一切ありません。我々の可能性は無限大にあります。

これだけの飛躍を遂げられたのは、従業員、サプライヤー、パートナー、そして販売会社の皆さまの18年にわたるご尽力のお蔭です。これまで厳しい決断を迫られ、リーマン危機、業界の合従連衡、技術の進化など、様々な変化・混乱の中、舵取りを進めてきました。そのような中でも力をあわせて、商品・技術を生み出し、事業の効率化を推進し、売上高の増大と需要喚起に向けた革新と創造性を発揮してきました。その結果、日産は成長のための投資と株主価値を提供するのに十分なキャッシュフローを創出することができたのです。

社長として日産の指揮を任されたことを心から光栄に思います。その間、極めて優秀な経営陣と幹部を育成できたことは私の誇りです。しっかりとしたマネジメント層が育ったお蔭で、アライアンスの拡大と経営にさらに集中する体制に移行することができました。当社の取締役会が、私の提案する西川 廣人のCEO就任を承認してくれたことを嬉しく思います。西川は2016年10月以来、共同最高経営責任者を務めてきました。当社のマネジメント層には、西川の指揮の下、会社の戦略と事業目標を引き続き達成する力と経験があると信じています。

私は引き続き日産の取締役会会長として、またルノー・日産・三菱自動車のアライアンスの枠組みの中で、監督・指導を行っていきます。アライアンスは今や、世界最大の販売規模を誇る自動車グループの一つです。私は今後もアライアンスの拡大と成長をサポートし、パートナー各社がアライアンスの持つ規模による競争優位性をいかに享受できるよう、力を尽くすことを固くお約束します。

日産は正に、アライアンスの中心的な存在です。当社はグローバル事業を展開する力と、自動運転や電動化をはじめとする分野においてトップレベルの実力を備えています。都市化、人口増加、気候変動が進む中、我々の成長は、電動化、自動運転、コネクテッドカー、そしてモビリティ・サービスの領域における創造力と想像力次第です。以上の分野で、日産には成果を生み出す態勢が整っています。インフィニティとダットサンをはじめとする各ブランドと、パフォーマンス・カーから小型商用車、エントリーモデルを含む幅広いラインアップをもってすれば、日産は次世代のモビリティにおいて大きな役割を果たすことができます。

1999年以来的の日産の進歩に大いに誇りを持つと同時に、私の目は常に未来を見据えています。日産の新たな挑戦に取締役会会長として貢献できることを光栄に思います。

カルロス ゴーン

日産自動車株式会社 取締役会長